

●木津川草刈り業者との打ち合わせ会

13日14時 木津川出張所で行われ、播川さん山村が出席しました。新年度になると、いち早く木津川堤防の草刈り業者との打ち合わせが行われます。27カ所の希少種の生育地を現地で確認して、希少種の保全に協力をお願いしてきました。おかげで、調整がつき、気を遣うことが少なくなりました。この日は上流部と下流部に分けている2業者との打ち合わせでした。話し合いの結果、現地打合せを20日（金）午前9時から行うことになりました。上流部は23日（月）午前9時から実施となりました。

●春の野草を味わう会 14日

38名の参加がありました 里山の会の新年度一番の自主的な主催行事が「春の野草を味わう会」です。前々日には生育する野草の下調べ、生育状況の確認を里山の会植物会が中心となって行われました。事務所会議出席者の皆さんによって、竹のお椀つくりと竹の箸づくりをしていただきました。約40人分が製作されました。当日の午後にはカスミサンショウウオの観察会も予定していますので、桜谷保之先生もご参加いただきました。元気な子供たちもたくさん参加してくれて、随分と賑やかな里山農園になりました。

定刻10時に開会挨拶があり、全員が自己紹介を行って顔見知りになりました。中でも木津高校の先生がお越しになって里山の会の取組に接していただきました。昨年から来られている石川さんが鶏を連れてきてくれて人気者でした。そして、卵を産んでくれました。約1時間30分の野草摘みで食べきれないほどの収穫を得ました。農園周辺にタラの木が大きくなり、超高級食材として利用しました。中西康太君がすっかり採取係となって2年目なので、生育場所を覚えてくれて、頑張ってくれました。この日の採取野草は18種で、参加者提供の4種を合わせて、22種を天ぷら、和えもので味わいました。これは新鮮そのもので大変美味しく頂きました。朝からしっかり働いたので、おなかが大変空きました。ごはんを約4升炊きましたが、一粒も残さず全部食べました。野草は各種を丁寧に天婦羅にして、順番に食べて、賞味しました。

天気予想は午後3時には、雨が降り始めるとのことでしたので、昼休憩もそこそこに、味わう会を閉じました。みんなで緑があふれる里山農園の景色と雰囲気にも心も満足しました。午後からのカスミサンショウウオの観察会は、金田さん（昆虫部会の世話役）が一行を引き連れて生育池を案内しました。3月中旬の調査では24個の卵囊が見つかっていましたが、この日は幼生が生まれ始める時期に差し掛かっていました。ここでも本当に珍しい場面に出逢うことが出来ました。ラッキーでした。今度は里山音楽会と蛍の夕べの会やお泊りを伴う夜の生き物調べの会での出会いを約束して。名残惜しみながら家路につきました。

●2018年度の夏原グラント活動助成金の贈呈式

滋賀県草津市で行われ、大村副理事長が出席しました。この土曜日は関係団体のイベントが重なりました。里山の会は今年もナツハラグラントの活動助成金の申請を行った結果、女性が決まりました。14日に贈呈式が行われることになり、副理事長の大村氏が草津市のエストピアホテルに出向きました。近くの宇治田原町からもお越しになっていました。申請内容の中心は里山農園から白土山から通路整備のために使わしていただこうと予定しています。

●臨時理事会を開催しました13日（金）

16時から京田辺市中央公民館会議室で、欠席は2名でした。理事会は第3回理事会で結論に至らなかったもののうち各種個別専門会議について論議を深めました。また、京都木津川マラソン大会の竹切り作業と時間給についての報告が承認されました。全体を通じて、会員減少と財源との関連発言がありました。